

いのちをまもるPARTNERS
医療安全全国共同行動

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”に ぜひご参加ください

参加登録施設・医療安全レポート個人登録者・会員 募集中!

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”とは…

患者さんの安全を守り、患者さんと医療者がともに安心して治療やケアに専念できる医療環境づくりを促進するために、日本の医療を支える全国の医療機関・医療従事者・医療団体が、施設や職種、専門の壁を超えて、力を合わせて、安全の実現をめざす、医療界初の共同事業です。医療安全全国共同行動は2008年に発足し、その活動をさらに推進し、継続発展させるため、2013年に「一般社団法人 医療安全全国共同行動」が設立されました。



医療安全全国共同行動 議長

小泉 俊三

医療安全全国共同行動の活動

1. 医療事故をなくすための組織的な改善活動
2. 病院の取り組みに対する技術的支援
3. 地域での医療安全活動の交流・普及
4. 改善に取り組む病院を広げる活動
5. 見える化 [達成指標・対策の浸透度]

紹介動画

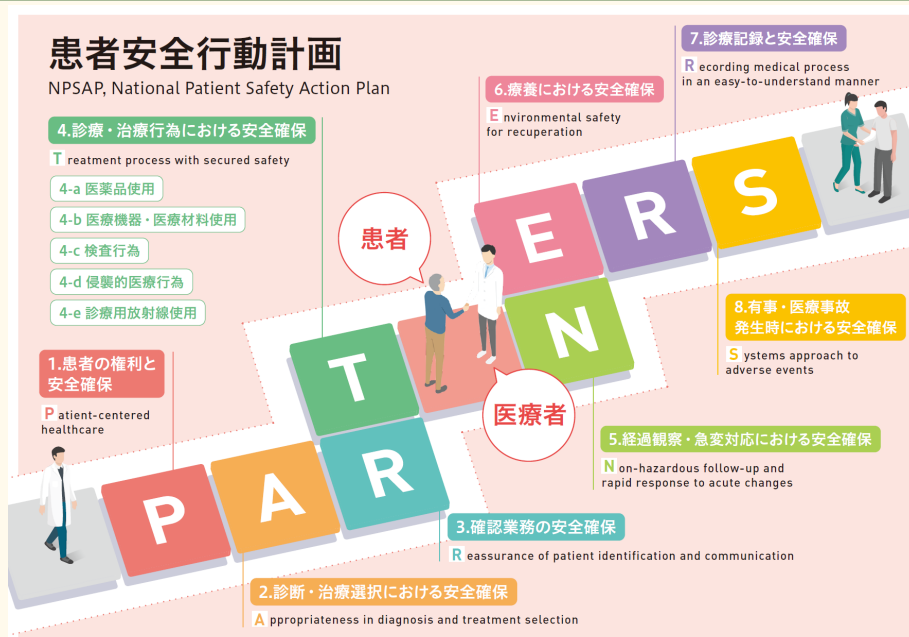
https://kyodokodo.jp/about/introduction_video/



(一社) 医療安全全国共同行動の設立呼びかけ団体

日本医師会 日本歯科医師会 日本看護協会 日本薬剤師会 日本臨床工学技士会 医療の質・安全学会

患者安全・医療安全に取り組むための行動計画を掲げています



当法人設立以来活動の柱としてきた「行動目標（11項目）」を、患者安全の新しい時代を率先して牽引し、医療現場における安全管理対策の充実を図るべく、抜本的な見直しを行い、2024年度から「患者安全行動計画（NPSAP, National Patient Safety Action Plan）」として8分野（12項目）の「行動計画」を策定しました。

安全の達成に向けて支援しています

医療安全全国共同行動では70名を超える多職種・多分野の専門家の方々がボランティアで支援活動に従事、セミナーやワークショップ、さらにホームページを通じて医療安全に取り組む医療機関を支援しています。

(※印は限定公開となっています)

●研修会やセミナー、ワークショップを開催しています

ホームページから開催案内や報告がご覧になれます



2016年 7月
医療安全研修会（ヒューマンエラー分析）



2016年 7月
医療安全研修会（チームトレーニング）



2016年11月
分科会「危険手技の安全な実施-経鼻栄養チューブ」



2015年11月
分科会「安全な手術-WHO指針の実践」



2015年 8月
医療安全管理者・病院管理者向け研修
「院内事故調査の手法を学ぶ」



2014年 6月
キックオフセミナー 機器展示

●「患者安全・医療安全実践ハンドブック」

医療安全全国共同行動が掲げる11の行動目標について、最新情報に基づく推奨対策と実践方法をわかりやすくまとめました。医療安全管理者必携！

■医療安全全国共同行動
技術支援部会編／B5判／
オールカラー／384ページ
定価 [本体 3,500円＋税]
2022年

* 詳細はホームページを
ご参照ください
(https://kyodokodo.jp/handbook_annai/)



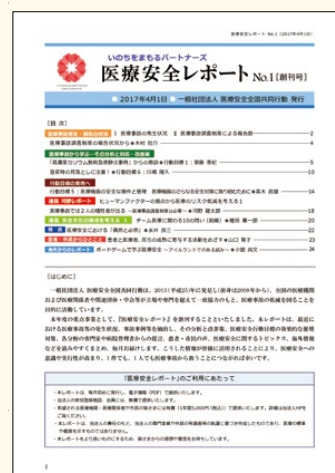
●「医療安全レポート」を毎月発行*

医療安全に取り組むために役立つ情報や知識、提言を読みやすくまとめ、専門性と実用性を備えた読み応えのある記事を毎月お届けします。執筆は、共同行動の行動計画推進部会委員はじめ各分野の有識者が担当。

■A4判 20～28頁／毎月1
回発行／PDF形式にてHPに
掲載

■申込み方法：下記のい
ずれかにご登録ください
参加登録施設／医療安全
レポート利用等個人登録
者／正会員・賛助会員
(当パンフレットp.4参照)

* ホームページより創刊
号を試読いただけます



●ホームページから各種支援・情報を提供しています

[支援ツール]*

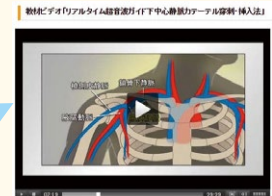
安全を実現するために開発された支援ツールとして、「ハウツーガイド」(詳細解説と推奨対策マニュアル)と「ツール」(取り組みを支援するツール)を提供しています

目標	ハウツーガイド	ツール
各目標共通		TOOL BOX
行動目標1: 危険薬の誤投与防止	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標2: 肺塞栓症の予防	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標3: 危険手技の安全な実施		
(a) 経鼻栄養チューブ	ハウツーガイド	TOOL BOX
(b) 中心静脈カテーテル	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標4: 医療関連感染症の防止	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標5: 医療機器の安全な操作と管理		
(a) 輸液ポンプ・シリンジポンプ	ハウツーガイド	TOOL BOX
(b) 人工呼吸器	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標6: 急変時の迅速対応	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標7: 事例要因分析から改善へ	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標8: 患者・市民の医療参加	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標9: 転倒転落による傷害の防止		
行動目標S: 安全な手術-WHO指針の実践	ハウツーガイド	TOOL BOX
行動目標W: 医療従事者を健康被害から守る (1) 抗がん剤腫瘍のない職場環境を実現する (2) 感染症の拡散を防止する院内手順を遵守する	ハウツーガイド	TOOL BOX

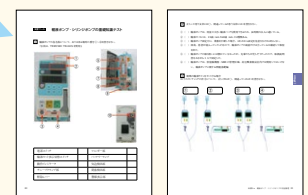
支援ツール一覧



医療事故調査キット



危険手技の安全な実施
(中心静脈カテーテル)
教材ビデオ短縮版

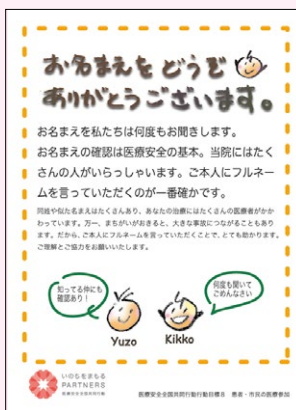


輸液ポンプ・シリンジポンプの
基礎知識テスト

[患者・市民の皆さまのページ]

医療者と患者・市民の皆さまを結んで安全に役立つ各種情報やツールをお届けしています。

★フルネーム確認ポスター

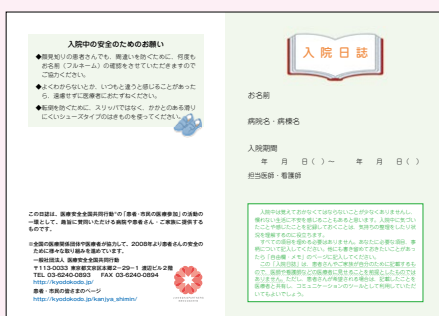


★お薬手帳推進ポスター



★入院日誌

入院中の患者さん(または家族)が、毎日のちょっとした記録や担当医・看護師の名前などをメモしたり、薬、手術、処置、検査のことなど、医療従事者に聞きたい大事な質問などを書いておくことができる、簡単な小さなノート(A5判)です。

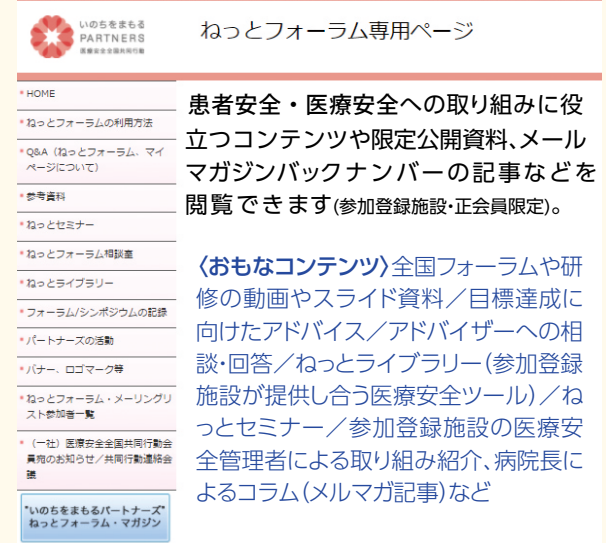


①表紙(右)・裏表紙(左)。



②日記のページ (見開きで1日分)

[ねっとフォーラム専用ページ]*



患者安全・医療安全への取り組みに役立つコンテンツや限定公開資料、メールマガジンバックナンバーの記事などを閲覧できます(参加登録施設・正会員限定)。

《おもなコンテンツ》全国フォーラムや研修の動画やスライド資料/目標達成に向けたアドバイス/アドバイザーへの相談・回答/ねっとライブラリー(参加登録施設が提供し合う医療安全ツール)/ねっとセミナー/参加登録施設の医療安全管理者による取り組み紹介、病院長によるコラム(メルマガ記事)など

★印はいずれも共同行動ホームページからダウンロードしてお使いいただけます。

《そのほかのおもなコンテンツ》転倒を防ぐために/患者図書室について/肺塞栓症予防について/採血を受けられる患者さまへ 他

病院、診療所・薬局・訪問看護ステーションなど医療機関の皆さまへ ぜひ「参加登録施設」に登録ください

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”にぜひご参加いただき、行動計画の実現と経験・教訓の共有にご協力をお願いいたします。参加登録をいただいた施設には、行動計画への取り組みをさまざまな形で支援します。

特典

- 「医療安全レポート」の閲覧（毎月1回発行／A4判 20～28ページ）
- 支援ツールの閲覧・利用（行動目標実現のためのツールキットやハウツーガイド）
- フォーラム、セミナーの限定公開動画や資料の閲覧
- ねっとライブラリーの利用（医療安全ツールの共有）
- メーリングリストへの参加（情報・意見交換、質問、相談等可能）
- アドバイザーへの相談・質問
- 参加登録証の院内掲示（A4判）
- 共同行動のバナーやロゴマークの使用（施設のHPなどに掲載可能）
- 研修・セミナー等の優先申込や受講料割引
- 施設名公表（共同行動HPやパンフレットに掲載）



【参加登録証】貴施設内に
掲示していただけます

■年間登録費用 *1カ年は4月～翌年3月、金額は税込
〈病 院〉1カ年／4万円（200床以上）
1カ年／2万円（200床未満）
〈診療所、薬局等〉1カ年／5千円

参加登録方法

ホームページの「登録・加入はこちら」バナーからお手続きください。
<https://kyodokodo.jp/tourokuannai> *年度途中でも登録できます。

医療従事者、医療安全に取り組む皆さまへ ぜひ「医療安全レポート利用等個人登録者」にご登録ください

特典

- 「医療安全レポート」の閲覧（毎月1回発行／A4判 20～28ページ）
- 支援ツールの閲覧・利用
- 研修・セミナー等の優先申込や受講料割引

■年間登録費用 1カ年 5千円 *1カ年は4月～翌年3月、金額は税込

■個人登録方法 ホームページの「登録・加入はこちら」バナーからお手続きください。



「医療安全レポート」

医療を支える団体、学会、企業、個人の皆さまへ ぜひ「会員」として事業の推進にご協力をお願いします

正会員

団体または学会は正会員として会費を納入していただくことにより共同行動社員総会に出席し、役員の選任や事業内容等の重要な意思決定に加わることができます。また、登録者は「医療安全レポート」や限定公開資料等の利用ができ、全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。

■年会費 団体、学会：1口 5万円（1口以上）

賛助会員

賛助会員は団体、企業、個人が共同行動の事業を賛助するために入会していただくものです。賛助会員は「医療安全レポート」の無料閲覧、支援ツールの利用ができ、共同行動のホームページやパンフレット等に名称を掲載いたします。全国フォーラム、シンポジウム等に会員割引にて参加できます。

■年会費 団体、企業：1口 10万円（1口以上） 個人：1口 2万円（1口以上）

入会のお願い

共同行動の事業は定款により、患者さんの安全を守り、患者さんと医療者が安心して治療に専念できる環境作りを目的として活動しています。こうした事業活動はおもに会費と寄付金収入によって運営されております。今後の事業の継続、発展には会費収入が不可欠であり、皆さまの入会をぜひともお願いいたします。

■申込方法 事務局（secretariatpartners@kyodokodo.jp）へ入会申込書をご送付ください。

※詳細はホームページの「登録・加入はこちら」をご覧ください。

参加登録施設

【病院】

【北海道】旭川赤十字病院／札幌積心会病院／ＪＡ北海道厚生連連経厚生病院／日鋼記念病院／動医協中央病院／市立千歳市民病院／釧路労災病院／名寄市立総合病院／恵み野病院／砂川市立病院／市立室蘭総合病院／市立根室病院／札幌心臓血管クリニック／北彩都病院【青森県】弘前記念病院／むつ総合病院／黒石市国民健康保険 黒石病院／健生病院／青森病院／青森県立中央病院【岩手県】岩手医科大学附属病院／盛岡赤十字病院／岩手県立中部病院【宮城県】仙台医療センター／石巻市立病院／石巻赤十字病院／永仁会病院／公立刈田総合病院／大泉記念病院【秋田県】秋田赤十字病院／秋田県立循環器・脳脊髄センター【山形県】鶴岡市立荘内病院／山形県立新庄病院／三友堂病院／米沢市立病院／山形県立中央病院／みゆき会病院／小国町立病院／日本海総合病院【福島県】医療生協 わたり病院／竹田総合病院／福島県立医科大学附属病院／太田総合病院附属太田西ノ内病院／北福島医療センター／白河厚生総合病院／（一財）脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院／福島県立医科大学会津医療センター附属病院／大原総合病院／福島寿光会病院／会津中央病院【茨城県】東京医科大学茨城医療センター／総合病院 土浦協同病院／常陸大宮済生会病院／筑波記念病院／村立東海病院／県北医療センター 高萩協同病院／西間木病院／総合守谷第一病院／総合病院 水戸協同病院／つるみ脳神経病院／水戸ブレインハートセンター／ひたちなか総合病院【栃木県】自治医科大学附属病院／獨協医科大学病院／栃木県立がんセンター／栃木県済生会宇都宮病院／佐野厚生総合病院／藤井脳神経外科病院／獨協医科大学日光医療センター【群馬県】公立藤岡総合病院／利根中央病院／慶友整形外科病院／せせらぎ病院／真木病院／伊勢崎市民病院／群馬大学医学部附属病院／館林記念病院／おうら病院【埼玉県】埼玉協同病院／北里大学メディカルセンター／自治医科大学附属さいたま医療センター／埼玉県総合リハビリテーションセンター／獨協医科大学埼玉医療センター／さいたま記念病院／埼玉県立循環器・呼吸器病センター／埼玉精神神経センター／堀ノ内病院／武蔵嵐山病院／埼玉よりい病院【千葉県】千葉市立青葉病院／千葉メディカルセンター／東邦大学医療センター佐倉病院／千葉市立海浜病院／成田赤十字病院／四街道徳洲会病院／総合病院国保旭中央病院／東京女子医科大学附属八千代医療センター／千葉県がんセンター／山之内病院／船橋二和病院／亀田総合病院／成田富里徳洲会病院／千葉大学医学部附属病院／千葉病院【東京都】武蔵野赤十字病院／信州医科大学横浜西部病院／亀田病院／大和市立病院／横須賀市立うまち病院／愛育病院／東京北医療センター／東京医科大学病院／東京衛生病院／東邦大学医療センター大森病院／東大和病院／東京医科大学八王子医療センター／練馬光が丘病院／板橋中央総合病院／河北総合病院／第三北品川病院／大橋病院／神谷病院／大森赤十字病院／柳原病院【神奈川県】横須賀市立市民病院／神奈川県厚生連伊勢原協同病院／神奈川県立精神医療センター／国家公務員共済組合連合会平塚共済病院／横浜市立市民病院／厚木市立病院／川崎協同病院／昭和大学横浜北部病院／関東労災病院／横浜市立大学附属市民総合医療センター／茅ヶ崎市立病院／東名厚木病院／川崎市立多摩病院／藤沢湘南台病院／横浜労災病院／聖マリアンナ医科大学横浜西部病院／亀田病院／大和市立病院／横須賀市立うまち病院／広瀬病院／宮川病院／小田原市立病院／小田原循環器病院／総合川崎臨港病院／総合高津中央病院／虎の門病院分院／昭和大学藤が丘病院／菊名記念病院／青木病院／新百合ヶ丘総合病院／横浜療育医療センター【新潟県】下越病院／長岡中央総合病院／上越総合病院／柏崎総合医療センター／新潟医療センター【富山県】富山県立中央病院／厚生連高岡病院／南砺市民病院【石川県】国民健康保険 小松市民病院／公立河北中央病院／石川県立中央病院／公立松任石川中央病院【福井県】福井県済生会病院／福井大学医学部附属病院【山梨県】山梨県立中央病院／笛吹中央病院／山梨大学医学部附属病院【長野県】ＪＡ長野厚生連佐久総合病院／信州大学医学部附属病院／組合立 諏訪中央病院／佐久市立国保浅間総合病院／飯田市立病院／松本市立病院／長野中央病院／健和会病院／浅間南麓こもろ医療センター／下伊那厚生病院／南長野医療センター 篠ノ井総合病院／松本中川病院【岐阜県】松波総合病院／岐阜大学医学部附属病院／市立恵那病院【静岡県】医療法人社団盛翔会 浜松北病院／浜松医療センター／浜松赤十字病院／聖隷浜松病院／静岡市立清水病院／聖隷三方原病院／焼津市立総合病院／静岡県立総合病院／地方独立行政法人 静岡市立静岡病院／磐田市立総合病院／静岡リハビリテーション病院／浜松市リハビリテーション病院／岡村記念病院／静岡徳洲会病院／中東遠総合医療センター【愛知県】厚生連海南病院／名古屋共立病院／日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院／愛知県がんセンター／半田市立半田病院／中京病院／安城更生病院／西尾市民病院／愛知医科大学病院／名古屋大学医学部附属病院／藤田医科大学ばんだね病院／名古屋記念病院／藤田医科大学病院／名古屋市立大学病院／豊川市民病院／中部ろうさい病院／名古屋市立大学医学部附属東部医療センター／大同病院／医療法人 光生会 光生会病院／さくら総合病院／一宮市立市民病院／大隈病院／名古屋ハートセンター／名古屋市立大学医学部附属西部医療センター／愛知県三河青い鳥医療療育センター／碧南市民病院／豊田厚生病院／春日井市民病院／名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院／公立西知多総合病院／豊橋ハートセンター【三重県】市立四日市病院【滋賀県】淡海医療センター／長浜赤十字病院／大津赤十字志賀病院／市立長浜病院／市立野洲病院【京都府】京都市民連中央病院／京都大学医学部附属病院／医仁会武田総合病院／舞鶴共済病院／京都市立病院／京都済生会病院／洛西ニュータウン病院／武田病院／三菱京都病院／京都市南病院／京都市東区あすかい病院／京都市立京北病院【大阪府】関西医科大学附属病院／松下記念病院／西淀病院／在日本南アフリカアソシエーション 淀川キリスト教病院／大阪赤十字病院／守口生野記念病院／大阪府済生会中津病院／大阪府立総合医療センター／小松病院／関西医科大学総合医療センター／市立ひらかた病院／高槻赤十字病院／市立豊中病院／堺市立総合医療センター／医真会八尾総合病院／耳原総合病院／明生病院／大阪府済生会千里病院／三康病院／関西医科大学香里病院／大阪歯科大学附属病院／大阪医科薬科大学病院／大阪労災病院／大阪医療センター／医学研究所北野病院【兵庫県】姫路赤十字病院／塚塚市立病院／市立伊丹病院／西宮協立脳神経外科病院／真星病院／神戸市立西神戸医療センター／六甲アイランド甲南病院／明和病院／兵庫県立粒粒線医療センター／兵庫県立大学ささやま医療センター／小原病院／神戸アドベント病院／姫路愛和病院／高砂西部病院／尾原病院／神戸協同病院／あんしん病院／公立中央総合病院／川崎病院／明石市立市民病院／順心病院／淡海ふれあい病院／東宝塚さとう病院／兵庫県立尼崎総合医療センター【奈良県】奈良県立医科大学附属病院／土庫病院【和歌山県】日本赤十字社和歌山医療センター／南和歌山医療センター／橋本市市民病院【鳥取県】博愛病院【島根県】加藤病院／島根大学医学部附属病院／隠岐広域連合立隠岐病院【岡山県】岡山済生会総合病院／岡山労災病院／総合病院岡山協立病院／岡山大学病院／岡山東部脳神経外科病院／倉敷中央病院【広島県】広島赤十字・原爆病院／国家公務員共済組合連合会広島記念病院／広島共立病院／広島市医師会運営・安芸市民病院／たかの橋中央病院／安田病院／生協さえき病院／荒木脳神経外科病院／公立世羅中央病院／浜臨整形外科病院／青木病院／呉医療センター・中国がんセンター／市立三次中央病院【山口県】岩国市医療センター医師会病院／下関市立市民病院／宇部興産中央病院／徳山中央病院【徳島県】川島病院／松永病院／徳島赤十字病院／吉野川医療センター／阿南医療センター【香川県】香川県立中央病院／高松赤十字病院／香川県立白鳥病院【愛媛県】松山赤十字病院／愛媛大学医学部附属病院／大洲中央病院／西条市民病院／愛媛県立中央病院【高知県】高知高須病院【福岡県】九州病院／製鉄記念八幡病院／千鳥橋病院／健和会大手町病院／福岡赤十字病院／戸畑リハビリテーション病院／ヨコラ病院／遠賀中間医師会 おんが病院／福岡整形外科病院／小倉記念病院／今津赤十字病院／新行橋病院【佐賀県】唐津赤十字病院／佐賀県医療センター好生館／佐賀大学医学部附属病院【長崎県】柿添病院／日本赤十字社長崎原爆病院／上戸町病院【熊本県】熊本赤十字病院／済生会熊本病院／天草都市医師会立 天草地域医療センター／熊本大学病院／矢部広域病院【大分県】津久見市医師会立津久見中央病院【鹿児島県】出水郡医師会広域医療センター／三愛病院／産科婦人科のほり病院【沖縄県】ハートライフ病院／沖縄県立中部病院／大浜第一病院／与那原中央病院／友愛医療センター

【診療所】

【北海道】美国産婦人科小児科／手稲家庭医療クリニック【宮城県】みやぎ北部循環器科／新富谷Ｓ・Ｓレディースクリニック【福島県】ふたば医療センター附属ふたば復興診療所【東京都】石橋クリニック／東京ミッドタウンクリニック／世田谷リウマチ膠原病クリニック 新宿本院／新宿駅前クリニック【神奈川県】多摩ファミリークリニック／戸塚診療所／及川医院【岐阜県】ローズベルクリニック【愛知県】オリープ在宅クリニック【大阪府】おかもと訪問看護ステーション【兵庫県】伊藤産婦人科医院【広島県】谷本医院【福岡県】みずほ内科・レディースクリニック／訪問看護ステーションラポールほのぼの【佐賀県】じんの内医院【宮崎県】あたご整形外科

※2024年10月現在

正会員・賛助会員

【正会員】

医療の質・安全学会／日本医師会／日本歯科医師会／日本看護協会／日本薬剤師会／日本臨床工芸士会／日本医学シミュレーション学会／日本医療機器学会／日本感染症学会／日本癌治療学会／日本形成外科学会／日本口腔科学会／日本呼吸療法医学会／日本高血圧学会／日本歯科衛生士会／日本集中治療学会／日本循環器学会／日本小児神経学会／日本神経学会／日本診療放射線技師会／日本赤十字社／日本透視医学会／日本乳癌学会／日本脳神経血管内治療学会／日本皮膚科学会／日本プライマリ・ケア連合学会／日本放射線技術学会／日本麻酔科学会／日本輸血・細胞治療学会／日本リウマチ学会／日本臨床衛生検査技師会／日本臨床救急医学会／日本臨床検査医学会／日本臨床腫瘍学会／日本臨床薬理学会／全国国立大学放射線技師会／全国国立病院療養所放射線技師会／抗がん剤曝露対策協議会／青森県医師会／茨城県医師会／石川県医師会／兵庫県医師会／福岡県医師会／佐賀県医師会／長崎県医師会／栃木県歯科医師会／大阪府歯科医師会／兵庫県歯科医師会／奈良県歯科医師会

【賛助会員】

エーザイ株式会社／サクラグローバルホールディング株式会社／一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会／テルモ株式会社／ニプロ株式会社／パラマウントベッド株式会社／カーディナルヘルス株式会社／株式会社 Ｎ Ｓ Ｄ／サクラヘルスケアサポート株式会社／株式会社大塚製薬工場／株式会社学研メディカルサポート／菅野隆彦（医師）／杉山山子（看護師）／小林正和（臨床工学技士）／松田晋也（医療安全管理者、臨床工学技士）／山下慶三（医師）／根本誠一（臨床検査技師）

※順不同 2024年10月現在

医療安全全国共同行動のあゆみ

2008年	【5月】医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”発足。キックオフ・フォーラムを東京で開催。【7～9月】キックオフ・フォーラムを各地で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2009年	【5月】医療安全全国フォーラムを東京で開催。【6～11月】地域フォーラムを各地で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2010年	【2～11月】地域フォーラム／シンポジウムを各地で開催。【5月】医療安全全国共同行動2周年記念フォーラムを東京で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2011年	【7月】肺塞栓予防国際フォーラムを京都で開催（英国との共催）。【10～11月】地域フォーラム／シンポジウムを各地で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2012年	【4月】医療安全ワークショップを京都で開催。【10～11月】地域フォーラム／シンポジウムを各地で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを埼玉で開催。
2013年	【5月】一般社団法人医療安全全国共同行動設立。【6月】記念シンポジウム「医療安全は新たなステージへ」を東京で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを東京で開催。
2014年	【6月】医療安全キックオフセミナー2014を東京で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2015年	【5月】医療事故調査制度に関する講演会を栃木で開催。【7月】『医療安全 実践ハンドブック』出版。【8月】医療事故調査制度における「医療事故調査等支援団体」指定。医療安全管理者・病院管理者向け研修「院内事故調査の手法を学ぶ」を京都で開催。【9月】医療事故調査制度に関する研修会を東京で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2016年	【5月】病院管理者研修会「医療安全の向上を目指すトップマネジメントの責任と役割」を東京で開催。【5～11月】医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。【7月】医療安全研修会「チームトレーニングとヒューマンエラー分析を中心に」を東京で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを東京で開催。【12月】医療事故調査実践セミナーを東京で開催。
2017年	【2月】病医療安全研修会「チームトレーニングとヒューマンエラー分析を中心に」を東京で開催。【3～9月】医療事故調査実践セミナーを各地で開催。【4月】『医療安全レポート』創刊。【5～12月】医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを千葉で開催。
2018年	【2月】医療安全セミナー「医療安全の今を考える ～今のままでよいのか、日本の医療安全～」を東京で開催。【3～11月】医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。【10～翌1月】医療安全管理者養成研修～e-ラーニング+集合研修 併用方式～を東京で開催。【11月】医療安全全国フォーラムを愛知で開催。
2019年	【1～10月】医療安全セミナー「ImSAFER研修」を各地で開催。【5～翌2月】医療安全管理者養成研修～e-ラーニング+集合研修 併用方式～を各地で開催。【11月】医療安全セミナー「南信州キャラバン」を長野で開催。【12月】医療安全全国フォーラムを京都で開催。
2020年	【8～翌2月】医療安全管理者養成研修～e-ラーニング+オンライン演習 併用方式～を開催。【翌3月】医療安全全国フォーラムをオンラインで開催。
2021年	【6～12月】医療安全管理者養成研修～e-ラーニング+オンライン演習 併用方式～を開催。【11月】医療安全全国フォーラムをオンラインで開催。
2022年	【6月】『患者安全・医療安全 実践ハンドブック』出版。【6～12月】医療安全管理者養成研修～e-ラーニング+オンライン演習 併用方式～を開催。【6, 8, 11, 翌2月】RRSセミナーをオンラインで開催。【11月】医療安全全国フォーラムをオンラインで開催。【翌3月】PICCプラクティショナーコースを東京で開催。
2023年	【6～12月】医療安全管理者養成研修～e-ラーニング+オンライン演習 併用方式～を開催。【6, 9, 12, 翌3月】RRSセミナーをオンラインで開催。【7, 11, 翌3月】PICCプラクティショナーコースを東京で開催。【9～翌3月】オンラインセミナーを開催。【11月】医療安全全国フォーラムをオンラインで開催。



医療安全全国フォーラム (2011年)



医療安全全国フォーラムの特別講演より
 左上 W・A・コンウェイ医師(2008年)
 右上 ブライアン・ジャーマン卿(2009年)
 左下 ギュンター・ヨーニッツ氏(2009年)
 右下 李啓充氏(2010年)



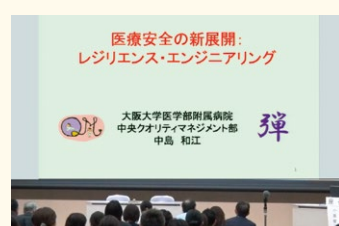
医療安全全国フォーラム (2015年)



医療安全全国フォーラム (2016年)



医療安全全国フォーラム (2017年)



医療安全全国フォーラム (2018年)

一般社団法人 医療安全全国共同行動

議長 小泉 俊三

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-29-1 渡辺ビル 2階 TEL 03-6240-0893 FAX 03-6240-0894

メールアドレス secretariatpartners@kyodokodo.jp ホームページ <https://kyodokodo.jp/>